

露店開設の皆様へ

平成25年8月、京都府福知山市の花火大会で露店から出火し多数の死傷者を出した火災を教訓に、火を使用する器具等の取扱いに関する基準を強化し「安全で安心して楽しめるイベント」が開催できるよう火災予防条例の一部が改正され、平成26年8月1日から施行されました。

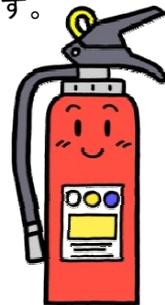
* 改正内容

1. 祭礼、縁日、花火大会、展示会、地区の祭り、運動会など多数の人が集まる催しで、対象火気器具等を使用する場合は、消火器を準備することが義務付けられました。

ただし、近親者によるバーベキュー、幼稚園等で保護者が主催する餅つき大会など、集まる範囲が個人的なつながりに留まる場合は、対象外です。

「対象火気器具等」とは

- (1) 気体燃料を使用する、ガスコンロ・ガスストーブなど
- (2) 液体燃料を使用する、発電機・石油ストーブなど
- (3) 固体燃料を使用する、薪ストーブ・かまどなど
- (4) 電気を熱源とする、電気ストーブ・電気コンロなど



「消火器」の準備について

- (1) 6型以上の消火器が適切です。(エアゾール式簡易消火具は該当しません。)
- (2) 対象火気器具等を使用する1露店等に対して1消火器の準備が必要です。
(隣接2露店等までは共同して準備することもできます。)
- (3) 対象火気器具を使用しない露店等(金魚すくい等)は対象外です。
* 電源として発電機を使用すれば消火器の準備が必要です。

2. 祭礼、縁日、地区の祭りなど多数の人が集まる催しで、対象火気器具等を使用する露店等を開設する場合には、消防署へ届出(露店等の開設届出書)を提出することが、義務付けられました。

- (1) 届出の対象となる露店等は対象火気器具等を使用する場合に限ります。
- (2) 原則、露店等の開設者が届出をすることとなりますが、祭り等の主催者等が代表して届け出ても差し支えありません。
(なお、露店等の開設場所や消火器の設置場所の略図の添付が必要です。)

問い合わせ先

日田消防署 予防係又は危険物係
電話 0973-24-2204

消火器の使い方



1 まずピンをぬく

2 ホースを外し火元に向ける

3 レバーを強く握って放射する

日常点検

- 安全ピンはついていますか。
- キャップはゆるんでいませんか。
- 容器にサビや変形などはありませんか。
- ホースに詰まりやひび割れはありませんか。
- 中の薬剤が固まっていませんか。